

News Release

報道関係 各位

2024年8月26日

【イベント開催報告】

青年技術士支援委員会

「ケーススタディで学ぶ、若手技術士のためのリスク&クライシスマネジメント」 対面開催にて大盛況で終了！

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会（村上玲委員長）は、8月24日（土）に技術士コンピテンシー（問題解決・マネジメント）の向上を目的とし、「ケーススタディで学ぶ、若手技術士のためのリスク&クライシスマネジメント」を開催しました。前半ではリスクマネジメントについて、ISO31000に基づいたリスクの特定、分析、評価、対応の流れを、講義とグループワークを通して学びました。後半ではクライシスマネジメントについて、想定外の危機に対する対応の考え方について、講義と擬似的な災害環境下を想定した図上訓練を通して学びました。45歳以下の27名の技術者が参加し、大盛況のうちに終了しました。

イベント詳細

企業活動を維持する上で大切となるリスク要素を事前に抽出し、顕在化させないための対策を講じる「リスクマネジメント」と、リスクが顕在化した（＝危機が発生した）後の、損失を最小限とするための活動である「クライシスマネジメント」の考え方を理解することを目的としたCPD行事としました。

前半は「リスクマネジメント」について、リスクマネジメントの定義、目的をはじめとした前提条件と、実際にリスクを特定、分析、評価、対応するためのプロセスについて学びました。特にプロセスについて、4M分析のガイドワードを用いながら、リスクの大小を「発生頻度」と「被害規模」で点数化することで定量的に分析・評価するための方法を講義で取り上げました。その後、「線状降水帯接近に伴う豪風雨」をリスク源に想定したグループワークを実施し、リスクマネジメントの作業を体感することで理解を深めました。

後半は「クライシスマネジメント」について学びました。まず、クライシスマネジメントの具体的なプロセスとして①優先順位を明確にすること、②その時の最善を尽くすこと、③積極的な対応をすること、④実効性の高い対策を選ぶこと、を講義で学びました。次に、「食品工場が線状降水帯による豪風雨に被災」した場合を想定した図上訓練の実施を通して、刻一刻と状況が変化する場合のクライシスマネジメントを体感しました。

最後に、CPD行事で学んだことをグループで振り返り、今日の学びを明日から活かす方法について話し合いました。

参加者からは「リスク・クライシスマネジメントと一緒に体感する貴重な機会だった」「各参加者の専門性を活かした意見を出し合い、対策を話し合えた事が非常に有意義だった」との声が寄せられました。



講義の様子



グループワークの様子



グループワーク発表の様子

【本イベントに関するお問い合わせ】

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会 委員長 村上 玲

委員会内広報グループ：山本直樹 E-mail: pr@peyec.jp ※取材の際は左記までお問い合わせください。

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会とは？

公益社団法人 日本技術士会は技術士制度の普及・啓発に取り組んでいる唯一の全国組織です。当会は、日本技術士会内に設けられた委員会組織で、45歳以下の技術士、技術士補、修習技術者から構成され、若手技術士に向けた研鑽事業の企画・実施・支援をしています。